

### 3 県立長野図書館

#### (1) 図書館事業の概要

図書館が、多様な県民の学びを支える「地域の情報拠点」としての役割を果たすため、県立図書館を中心に様々な情報を生かした新しい図書館づくりを推進した。

ア 資料の充実（郷土資料・一般図書・児童図書等）

イ 新たな情報資源の活用（コーディングゲーム等）

ウ データベース等の情報提供の充実

エ 調査相談サービスの充実

(ア) レファレンス協同データベースへの事例登録・提供の促進

オ 図書館間貸出の促進

(ア) 市町村図書館等支援用資料の充実（郷土資料、専門資料等の充実）

(イ) 資料返却費用の支援

カ 公共図書館、学校図書館、図書館未設置町村の支援

(ア) 各館の状況に応じた運営支援の実施

(イ) 広域単位での研修の企画・実施、開催支援、講師派遣

(ウ) 地区ブロック会議への出席等による広域連携に向けた連絡調整及び支援

(エ) 図書館設置準備支援

(オ) 公式 Facebook ページ等を通じた情報発信の強化

キ 遠隔地サービスの充実

(ア) インターネット予約貸出の実施

(イ) 遠隔地返却窓口の設置

(ウ) 複写物郵送受取

ク 長野県図書館協会との連携活動の推進

(ア) 第 71 回長野県図書館大会（中野市）

(イ) 公共図書館職員研修会の開催

・中堅図書館員研修としての位置づけで、これからの公共図書館研究会の年間開催  
（全 13 回）

(ウ) 長野県公共図書館館長研修会（R 3.10）

ケ 関係機関との連携活動の促進

(ア) 信州大学附属図書館との連携（職員交流研修の実施）

(イ) 株式会社バリューブックス（上田市）との連携協定

(ク)信州大学教育学部附属次世代型学び研究開発センター・Fablab 長野（長野市）、株式会社アソビズム（東京）と三者の連携覚書

コ 新型コロナウイルスの感染拡大と図書館サービスの制限について

(ア) 3密という感染要因を回避するため、マスク着用・ソーシャルディスタンスの徹底、常時換気、アルコール消毒、飛沫遮蔽パーテーション（ビニール・アクリル板）の設置、座席の間引き等の対策を講じた。

(イ) 当館のサービスレベルは、(公社)日本図書館協会のガイドラインや国・県の指針に応じて決定しており、県における警戒レベルの強化に対応した図書館利用イメージをホームページに掲載し、利用者向けの広報を行ってきた。

(2) 職員組織（人）

館長 1 副館長 1 総務企画課 9（うち 1 副館長） 資料情報課 11 会計年度任用職員 15

(3) 県立長野図書館協議会

委員の構成

職	氏名	所属・職名等
会長	渡邊 匡一	信州大学人文学部 教授
委員	内山 由香里	長野県伊那北高等学校 教諭
	大林 晃美	NPO法人本途人舎 代表理事
	春日 由紀夫	駒ヶ根市立東伊那公民館 館長
	西山 卓郎	株式会社バリューブックス 社員
	平賀 研也	日本大学芸術学部 非常勤講師
	松山 佳奈子	ゆめサポ@ながの メンバー
	棟田 聖子	松川村図書館 館長

(任期 令和3年1月1日から令和4年12月31日まで)

(4) 図書館資料 (令和4年3月31日現在)

ア 図書資料

(ア) 図書 総数 747,140 冊

( 令和3年度受入数 19,742 冊 (うち購入 8,030 冊、寄贈 11,712 冊) )  
( 令和3年度除籍数 130 冊 (重複蔵書の整理、汚破損によるもの) )

- (イ) 雑誌・新聞 雑誌 773タイトル  
新聞 96タイトル
- (ウ) 古典籍、古文書等 268点
- (エ) マイクロフィルム 10,283リール

イ 視聴覚資料

- (ア) 16ミリ映画フィルム 2,260本
- (イ) ビデオテープ 3,036本
- (ウ) DVD 179本

ウ 商用データベース 16件

(5) 館内利用状況

開館日数 279日 【平日】173日 【土日祝】106日  
入館者数 260,095人 1日平均 932人

(6) 調査相談

県民等から寄せられるさまざまな調査・相談に対して図書館の資料に基づいて回答するレファレンスサービスを実施した。

調査相談件数 (分類別)

(単位：件)

分類	口頭	電話	文書、FAX、 メール	計
郷土	347	142	282	771
総記	38	17	16	71
哲学	31	15	1	47
歴史	92	18	6	116
社会科学	136	51	19	206
自然科学	117	20	3	140
技術	90	11	2	103
産業	70	12	7	89
芸術	115	22	47	184
言語	23	54	2	79
文学	197	39	8	244

絵 本	107	5	0	112
新聞・雑誌	110	59	9	178
利用案内等	1,469	2,025	0	3,494
計	2,942	2,490	402	5,834

### (7) 図書館間貸出

県民等が必要とする図書館資料を最寄りの公共図書館等を通じて提供する図書館相互の貸借を行った。

図書館相互の貸借冊数

(単位：冊)

図書館等		区 分	貸 出	借 受
		県 内	公共図書館	1,432
公民館図書室	449		12	
学校図書館	2,160		55	
県 外		180	140	
合 計		4,221	408	

### (8) 団体貸出の利用状況

区 分	令和3年度
件 数	26
貸出冊数	41

### (9) 図書館改革への取り組み—「本の館」から「地域の情報拠点」「知と創造の場」へ

地方創生の新たな時代に対応し、情報・知識基盤社会における多様な県民の「知の拠点」としての役割を果たすため、「情報の改革」「人の変革」「場の革新」により県全体の図書館サービスの中核たる県立図書館としての機能を強化し、公共図書館と共に様々な情報を活かした新しい図書館づくりを推進している。

ア 信州発「これからの図書館フォーラム」の開催

新たな時代にふさわしい図書館のあり方について提案、議論する場を展開

・「信州発・これからの図書館フォーラム」(R3.4-R4.2 全5回)

- ・「ラボ・デザイン会議」等

イ 市町村図書館・学校図書館等への支援

- ・「林業士入門講座」（主催：林業総合センター）（R 3. 6-11 全3回）
- ・「もっと知ることを楽しむ図書館へ ～学校と公共で手をつなぐ～」  
（主催：松本市教育委員会 学校司書研修）（R 3. 8. 27）
- ・「長野県白馬高等学校探究学習」（R 3. 11. 17, 11. 24）
- ・「ウィキペディアタウン in 池田町」  
（主催：北アルプス地域振興局）（R 3. 11. 28）

ほか

ウ 先進的モデル空間の運用

「共知・共創（共に知り共に創る）」をコンセプトに、人と人がつながり、共に学びあい、新たな社会的価値が創造されていく場所として「信州・学び創造ラボ」を平成 31 年 4 月にオープン。

- ・利用状況（R 3. 4-R 4. 3）  
催し 災害アーカイブ展 ほか 89 件  
視察 信州大学工学部建築学科 ほか 7 件

エ 信州 知のポータル『信州ナレッジスクエア』運営

- ・「信州サーチ」の連携アーカイブの充実（「伊那市デジタルアーカイブ」、「信州デジタルコモンズ」の追加）